

令和 6 年度 「ふれあい地域懇談会」 報告書

< 大船地域 >

日 時	令和 6 年（2024年） 7 月 5 日（金） 午後 2 時半～ 4 時半		
場 所	鎌倉芸術館 集会室		
出 席 者	自治会・町内会代表	26名	計29名
	地域団体代表	3 名	
	鎌倉市	9 名	
内 容			
第 1 部	市長からの説明 （１）深沢のまちづくりについて （２）今後のごみ処理方針（戸別収集の実施）について （３）ケアラー支援条例の制定について （４）支所を活用した防災対策について		
第 2 部	地域からの議題に関する懇談 （１）北鎌倉トンネルについて （２）大船消防署について （３）隧道について （４）JR引込線跡地について （５）ごみ問題について （６）町内会エリアの大部分が商店会エリアの場合の問題点について		

出席者名簿 （敬称略）

【自治会・町内会等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	山ノ内明月会町内会	勢 直樹	会長
2	山ノ内中町北町内会	古川 均	会長
3	山ノ内中町南町内会	鈴木 三千子	会長
4	山ノ内下町上町内会	出田 順子	副会長
5	山ノ内下町中町内会	関口 久男	副会長
6	鎌倉市大船自治町内会連合会 （山ノ内下町下町内会）	小泉 権七	副会長 （会長）
7	末広町町内会	齊藤 利昭	会長
8	田園町内会	水島 三千夫	会長
9	戸ヶ崎あけぼの会町内会	上村 浩之	会長
10	市場町内会	北村 充成	会長
11	台町内会	山ノ井 信弘	会長
12	鎌倉市大船自治町内会連合会 （つるまい町内会）	秦 豊昭	会長 （会長）
13	大船仲通町内会	権頭 泰雄	会長
14	梅田町内会	齊藤 勇	会長
15	松竹前町内会	岩崎 安男	会長
16	小袋谷町内会	齊藤 誠七	会長
17	離山町内会	後藤 広二	会長
18	栄町町内会	堀 直樹	会長
19	南ヶ丘自治会	久坂 誠治	会長
20	谷之前自治会	渡邊 哲夫	会長
21	大船町内会	松本 明	会長
22	岩瀬町内会	安増 裕治	会長
23	鎌倉市大船自治町内会連合会 （今泉町内会）	高橋 育雄	副会長 （会長）
24	今泉台町内会	山本 昭夫	会長
25	高野台自治会	喜田 薫博	会長
26	富士見町町内会	増井 嘉昭	副会長

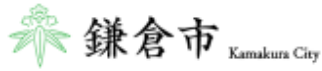
【その他の団体等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	大船地区社会福祉協議会	田中 茂	会長
2	第七地区民生委員児童委員協議会	角田 孝子	会長
3	第八地区民生委員児童委員協議会	尾島 珠世	会長

【鎌倉市】

	役 職	氏 名	備 考
1	鎌倉市長	松尾 崇	
2	市民防災部長	永野 英樹	
3	総務部長	藤林 聖治	
4	環境部長	加藤 隆志	
5	まちづくり計画部長	林 浩一	
6	まちづくり計画部長	服部 基己	
7	都市整備部長	森 明彦	
8	消防長	高木 守	
9	大船支所長	茂木 健太郎	

第 1 部 市長からの説明 【共通】



令和 6 年度 ふれあい地域懇談会

第 1 部 市長からの報告

鎌倉市長 松尾 崇

Ⅰ. 深沢のまちづくりについて



鎌倉市

2

市庁舎移転に向けての現状



鎌倉市

3

令和4年12月
～
令和5年度

鎌倉市役所移転に関する条例（賛成 16 反対 10 で2/3に足らず否決）
の否決以降、情報発信不足などの指摘に対応

⇒動画作成など、様々な方法で周知に取り組む

⇒説明会など（約60回・延べ約1,000名）や「てのりかまくら」
（2,194枚）の配布など、合計約70回・延べ約6,800人

新しい市役所」のイメージを具体化し、
理解度や納得感を高める必要性

令和6年2月 「基本設計」関連予算が可決
基本設計の着手へ



動画でわかる
本庁舎等整備事業

4

深沢のまちづくりの現状



鎌倉市

5

深沢のまちづくりの目的

昭和62年 深沢地区に約8.1 ha の国鉄清算事業団用地が誕生

土地区画整理事業を実施します。

第3の都市拠点

を形成することで、

- ・人口減少、少子高齢化
- ・社会インフラ、公共施設の老朽化
- ・市の財政基盤の強化

等の様々な課題に対応します。



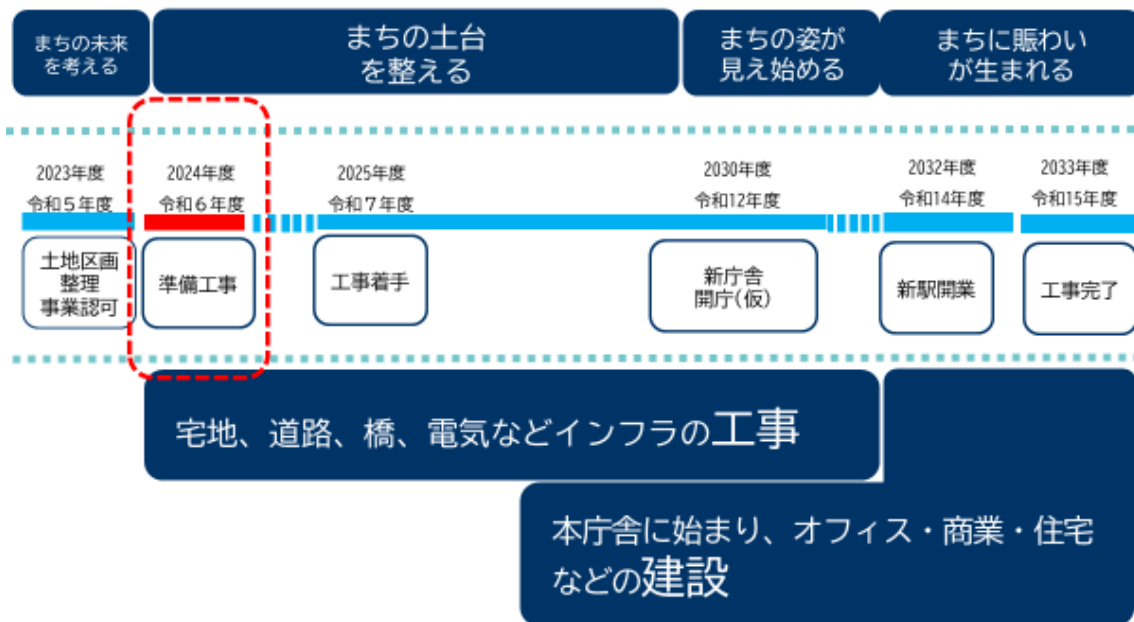
6



新庁舎は、市庁舎、地域図書館、学習センター、消防本部・消防署を複合した施設の整備を計画しています

7

深沢のまちづくりスケジュール



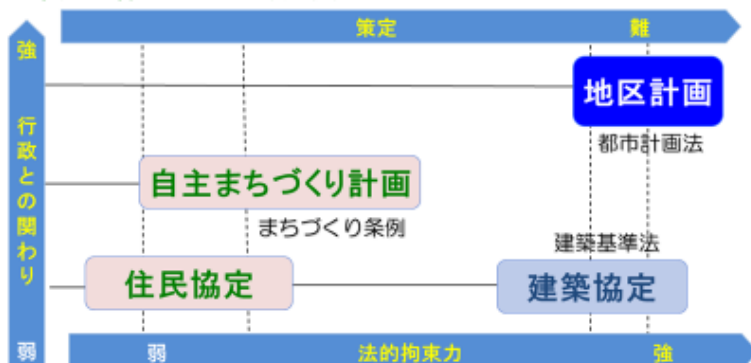
8

地区計画について

9

市民主体のまちづくり(目標によって最適な方法があります)

■ 市民主体のまちづくり方法のいろいろ



都市計画法では、地区計画等の提案をするために、権利者の2/3以上の同意を必要としています。

○都市計画法に定める都市計画決定を行うことになるため、建築物の用途などに、法的な拘束力が発生します。

○土地の利用を規制することになるので、地域の皆さんが提案する際には、権利者全員の同意を目指すことが大切です。

○法令や都市マスタープランに定める施策との整合を図る必要があります。

■ 地区計画とは・・・

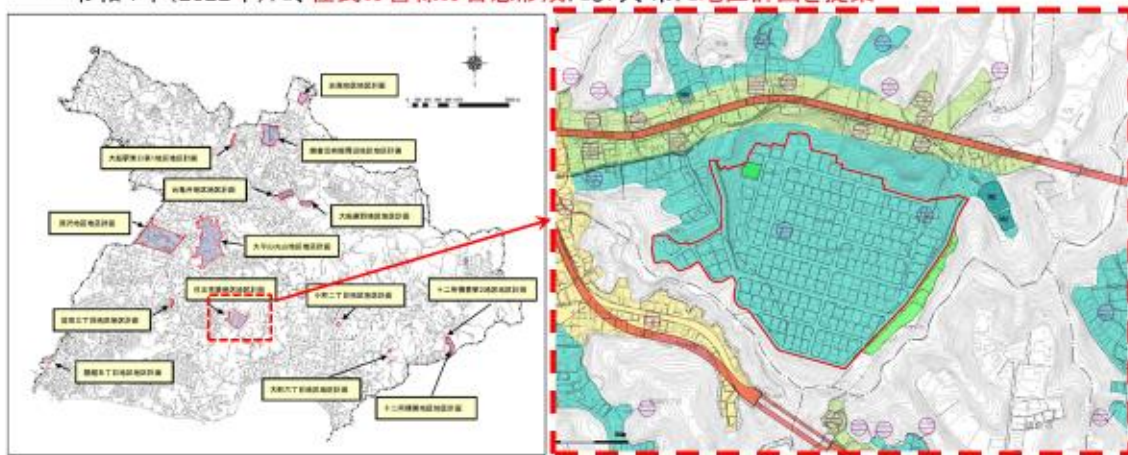
○現在定められている都市計画を前提として一定のまとまりをもった地区(例えば町内会など)において地区の実情に応じて、きめ細かく建築物の用途や高さなどの制限を定める制度

10

地区計画は市内に14地区(市民主体の地区計画策定は3地区)

○住友常盤地区地区計画(約8.5ヘクタール)／令和6年(2024年)2月都市計画決定

- ⇒ 第一種低層住居専用地域・第2種風致地区内の一体の区域
- ⇒ 昭和61年(1986年)から住民協定を締結し、住環境の保全に努めてきた
- ⇒ 平成30年(2018年)から市に相談しながら、建物の用途(届出住宅等)や最低敷地面積(200㎡以上)の制限を検討してきた
- ⇒ 令和4年(2022年)に、住民の皆様の合意形成により、市に地区計画を提案



11

2. 今後のごみ処理方針について

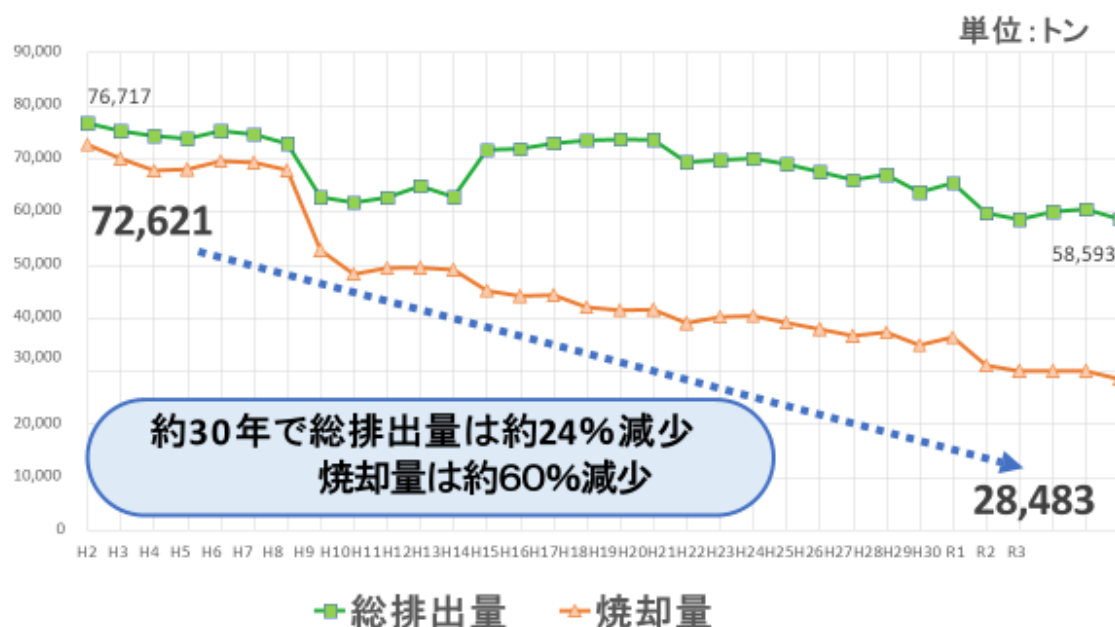


鎌倉市

12

Kamakura City 鎌倉市

ごみの発生量と焼却量の推移



13

今後のごみ処理方針

令和3年(2021年)6月 第3次鎌倉市一般廃棄物処理基本計画改定

- 新焼却施設を建設せず、「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現をめざして、ごみの減量・資源化を実施。
- 家庭系燃やすごみの約半分を占める生ごみや紙おむつの資源化、事業系ごみの資源化により令和11年度(2029年度)までに、年間3万トンある燃やすごみを1万トンまで削減をめざす。

※令和11年度(2029年度)計画値

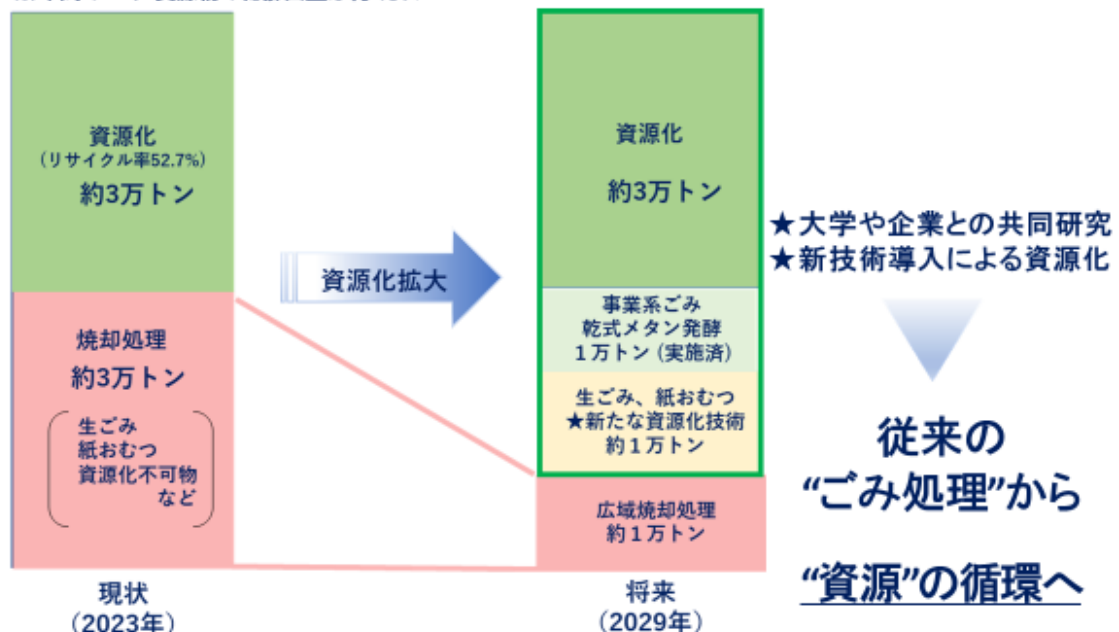
燃やすごみ合計	28,708t	削減量合計	18,853t	焼却量合計	9,855t
家庭系ごみ	18,643t	家庭系ごみ計	8,788t	家庭系ごみ	9,855t
事業系ごみ	10,065t	・生ごみ	6,371t	事業系ごみ	0t
		・紙おむつ	1,485t		
		・分別徹底	932t		
		事業系ごみ	10,065t		
		・生ごみ	2,253t		
		・紙おむつ	762t		
		・分別徹底	393t		
		・混合ごみ	6,657t		

14

Kanagawa City 鎌倉市

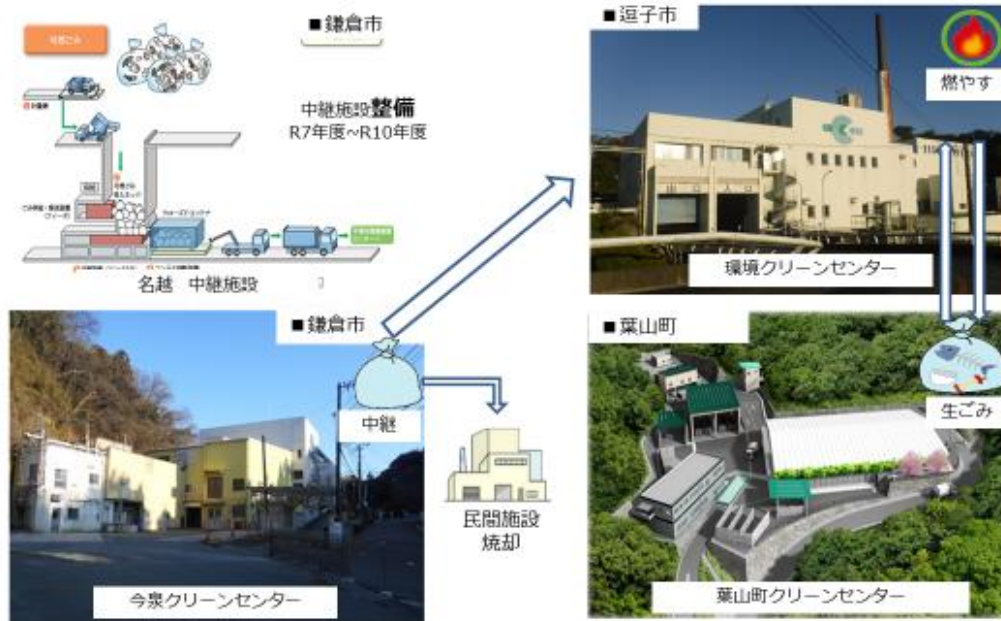
2029年までに焼却量1/3を目指す

※年間のごみ・資源物の総排出量は約6万トン



15

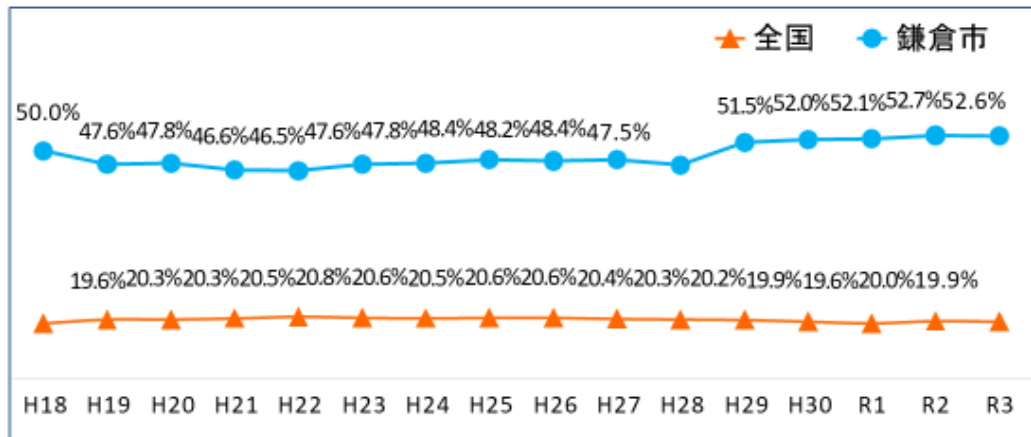
二市一町の主な施設の今後（中継施設整備中）



(写真出典：各自治体ホームページ)

16

リサイクルの推移



鎌倉市のリサイクル率
(人口10万人以上50万人未満の市)

全国2位 東京都小金井市(44.8%)
全国3位 東京都国分寺市(44.5%)

H26年度～H28年度

H29年度

H30年度～令和3年度

全国3位

全国2位

全国1位

17

リサイクル率

鎌倉市 人口172,428人 リサイクル率56.7%

逗子市 人口 59,609人 リサイクル率45.9%

葉山町 人口 31,431人 リサイクル率49.6%

神奈川県平均 リサイクル率24.4%

1位：鎌倉市 2位：葉山町 3位：逗子市



出典：令和4年度神奈川県一般廃棄物処理事業の概要

18

戸別収集について



鎌倉市

19

戸別収集の実施について 必要性と意義

クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減

- ・高齢者や子育て世帯、多様なライフスタイルのもとで生活する市民のごみ出し労力を軽減
- ・クリーンステーションの維持管理にあたって生じる負担軽減

ごみの減量

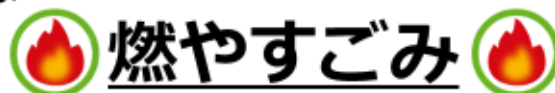
- ・個々の世帯が分別を意識して自宅前にごみや資源物を排出することで更なる減量、資源化に繋がる

今後、益々高齢化やライフスタイルの多様化が進展した場合にも、安定かつ継続的なごみや資源物の排出と収集を確保しなければならない

20

具体的な進め方

対象品目は



燃やすごみ



から開始します

令和7年4月に1万世帯から開始し、
令和8年4月から全市に展開します



21

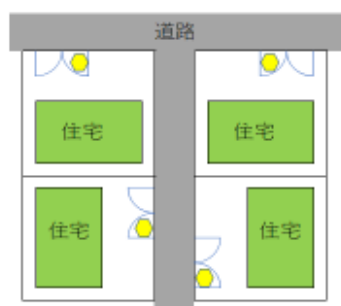
戸別収集開始時までには準備していただくこと

ごみを出す際に使用する動物対策用として蓋つきのごみ箱、衣装ケースなどをご用意ください。



出し方の例は次のとおり⇒

ご自宅の敷地内で道路に面した排出場所を確保してください。



22

出し方の例



23

3. ケアラー支援条例の制定 について



鎌倉市

24

Kamakura City 鎌倉市

鎌倉市ケアラー支援条例

家族の介護や援助を担うケアラーが、
自分らしく生きる機会を失う可能性があること
一人で悩みを抱え心身を疲弊させ、
社会的に孤立する可能性があること

を背景に、
すべてのケアラーが安心して自分らしく暮らすことの
できる共生社会の実現を目指して施行（R6.4.1）

ヤングケアラーへの配慮

- 本来大人が担うと想定されている家族へのケアの責任や重い負担で、こどもの権利や利益が損なわれたり、心身の健やかな成長・発達、適切な教育の機会の確保に支障がでないよう特に配慮する。

若者ケアラーへの配慮

- 年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担で、若者の学習の継続や職業選択の機会の確保に支障が出ないよう、また、適切な自立が図られるよう特に配慮する。

ケアラーへの切れ目のない支援の必要性

- ケアラー支援は、年齢を理由に支援が途切れることのないように、ライフステージの変わり目を意識して、年齢を問わず切れ目なく行うことが必要。

ケアラーへの包括的な支援の必要性

- ケアラーへの支援施策を充実させたとしても、ケア対象者への支援が不足しては一人ひとりのケアラーにかかる負担は軽減されないため、家族一人ひとりを支援する視点を持ち、ケア対象者への取組も含む包括的な支援を行うことが必要。

26

■ ケアラー支援に向けた取組

- ①（新）リーフレット、支援ガイド、サポートリストの作成
- ②（新）ピアサポートの運営及び運営補助
- ③（新）ヤングケアラーの居場所の開設
- ④包括的支援体制の推進（福祉4分野と地域づくり分野の連携による重層的支援体制整備事業の実施）
- ⑤（新）アウトリーチ等を通じた継続的支援事業によるケアラーへの伴走開始
- ⑥（新）ヤングケアラーコーディネーター・スーパーバイザーの配置
- ⑦スクールソーシャルワーカーの拡充、教育相談員の拡充
- ⑧（新）障害者支援アプリの導入
- ⑨子育て家庭に導入している家事支援・配食支援の拡充
- ⑩生活困窮者家庭への学習支援・フードバンクの取組

27

ケアラーのこと、どこに相談したら



よいか、わからない時は・・・

整理できてないけど話をきいて欲しい！！

「くらしと福祉の相談窓口」（本庁舎3番窓口）

Tel(直通) 0467-61-3864 (内線) 2503 2504



お気軽にご相談ください

- ・ ケアラー支援統括（福祉総務課 福祉政策担当）
Tel(直通) 0467-61-3436 (内線) 2653 2496 (本庁舎4番窓口)
- ・ ヤングケアラー支援（こども家庭相談課）
Tel(直通) 0467-61-3751 (内線) 2676 (本庁舎42番窓口)

28



鎌倉市

Kamakura City

4.支所を活用した防災対策 について



鎌倉市

29

これまでの災害時の対応

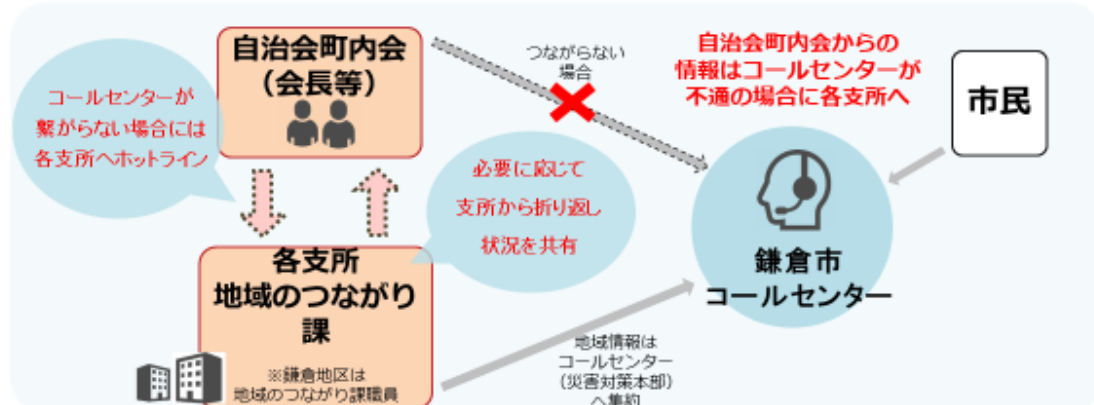


課題点

- 規模の大きい災害時には、市内の様々な情報がコールセンターに集中し、ふさがってしまうことから、自治会町内会からの重要な情報が市に伝わりにくいこともある。
- コールセンターに入った情報は、基本的に通報者への折り返しの連絡はないため、状況の確認の通報をしても、自治会町内会に対して返答ができない。

30

今後の災害時の対応



支所を活用した防災対策

- コールセンターが不通の場合には、災害時に出勤している各支所（鎌倉地域は、地域のつながり課）へ電話連絡が可能。
- 連絡を受けた支所職員及び地域のつながり課から、災害対策本部へ情報共有。
- 必要に応じて連絡を受けた自治会町内会へ、各支所及び地域のつながり課から状況を折り返し共有。

31

第1部 市長からの説明に対する意見・質疑

【大船地域】

<今泉台町内会 山本会長>

初めに市長のお話で市庁舎移転の話が出ました。大災害があったときのことを考えると、市庁舎は新たに造り直さなければならないと。これは構わないですが、大災害の話をされるのならば、鎌倉市内の危険地域、大津波が来たときはどうするのか、崖崩れが起こる場所はどこにあるのか、これに対する対策はどういうことが必要なのか、今、鎌倉市は何をしようとしているのか、こういう説明が我々にとって一番大事なことでして、市庁舎も大事ですけども、その問題に対して、具体的なイメージを我々に伝えていただけていないと私は思っています。このことをなぜ最初にお話しただけなのか、非常に残念に思いました。

<松尾市長>

ありがとうございます。そこの部分が伝わっていないのは申し訳なく思います。

東日本大震災があって、津波の対応は鎌倉市としてはしっかりとやっていかなければいけないということで、この間、地域の方々と津波避難訓練ですとか、津波避難ビルの指定ですとかを行ってきました。場所によってはビルがないところもありますが、そこについては裏山に逃げるための避難通路を市の方で整備をしてきたところですが、ただ、これは賛否あるところですけども、東北では大きな防潮堤を造るということをやった自治体もありますけれども、鎌倉市の場合は景観を大事にしているので、海を全て防潮堤で塞ぐという判断はしておりません。ここは賛否あるところであり、議論があるところだと思いますけれども、そこはそういう判断をさせていただいております。

鎌倉市の特徴として、すぐ裏に山がありますから、そこにとにかく逃げていただくことをベースに置きながら、津波フラッグですとか、津波避難経路の設置ですとかを十分に行いながら進めているところです。ただ、それで十分かと言われるれば、まだまだであり、足の悪い方ですとか、一人では避難できない方とかを具体的にどうするかというところまでは行き届いてない部分があります。その辺りは、海沿いの自治会町内会の皆さんと連携をして、一つひとつ取組を進めてまいりたいと考えています。

また、崖崩れも鎌倉市にとっては大きな課題です。神奈川県で急傾斜の指定をして工事をしていただいておりますが、レットゾーンという指定があるところについて、しっかりと対応をしていただく形になります。鎌倉市の所有しているところにつきましては、よりスピード感を持って安全対策をしてまいりたいと考えておりますし、また、民有地につきましては、一昨年に補助額を上げさせていただいて、より民間の方が所有しているところが工事しやすくなるように、取組を強化しています。

<戸ヶ崎あけぼの町内会 上村会長>

市役所の移転が議会で否決されたということで、反対された方はどういった御意見なのでしょう。また、反対されるにあたり、何か対案は示されたのでしょうか。

<松尾市長>

ありがとうございます。実は反対の意見というのが、皆さんそれぞれ違います。例えば、まだ住民がよく理解できてないということで反対された方がいらっしゃいました。それから、市の仕事の進め方が信用できないということで反対された方もいらっしゃいました。それから、時期尚早だということで反対された方もいらっしゃいました。あとは移転先の深沢が危ないのではないかと、今の市役所が移転した後の活用がまだ明確になっていないというようなこともありました。

そのときに出た対案では、今の場所で建て替えられないのかというのがあり、免震や制震をできないのかということがありました。それは、我々がもうすでにこの8年の間で検討してきている内容です。免震も、やはり聞こえは良いですけども、実際に今の市役所の老朽化している中では非常に難しく、それは埋蔵文化財の問題も含めて難しいという判断をせざるを得ませんでした。

我々も移転ありきで検討してきたわけではなく、あの場所で補強ができるのか、もしくは建て替えができるのかということを含めて検討してきた経過があるので、そのことについて改めて御説明をさせていただいているのですが、まだ十分には御理解をいただけていません。

<山ノ内中町北町内会 古川会長>

先ほど、今泉台町内会の会長からお話がありましたが、具体的な災害時の緊急対応策について確認しておきたい点がございます。

私どもの山ノ内中町北町内会には明月院があり、6月にはアジサイも咲くため、早朝からかなりの行列ができています。その中で、県有地の斜面は県の対応が進んできておりますが、鎌倉市道に転げ落ちた土砂の撤去、それと、梅雨の時期に入りますと、大雨が降った翌々日ぐらいに崖崩れが起きて、これが早朝に確認できた場合、市役所の守衛室に連絡して、そこから職員が緊急連絡網でもって駆けつけるという体制は十分取られているのか。県の方は、出勤してから職員を行かせますということが先月ありました。

今回の落石では、先に鎌倉市の道路課の職員の方が2名ほど来ましたので、その辺の連携は取れているのかなと思いましたが、一部側溝の上に岩が転げ落ちているというところで、大きな被害はなかったのですが、明月院通りは、ベストシーズンのときには、明月院の門まで相当な距離の行列をつくります。そのようなことから、危険の処置について、かなり強く申入れをしたことによって、すぐに仮工事のH鋼を打って、板塀のようなもので塞ぐ工事をしました。しかしながらまた雨が降って、そのエリアを越えたところにもう1回落ちてきました。これは生い茂った山肌を刈り込みして調査しないと確認できないわけですね。そういうところまできちんと踏み込んだ緊急対応策というのをしていけないと。それこそ逗子の崖崩れではありませんが、観光客が崖崩れの被害にあったら、鎌倉市としても、観光事業を推進するにおいて痛手を被ることになろうかと思しますので、崖地の一番要注意なところは、県に連絡をするとか、また、民有地の中でも現に起きているわけですから、その事例を踏まえて、各自治会なり、しかるべき地権者の方に御連絡をするという手法を取っていただかなければならないと思しますので、その辺をお知らせいただければと思います。よろしくお願いします。

<松尾市長>

ありがとうございます。具体的な場所がきつとおありですね。また場所を教えていただければと思います。

<山ノ内中町北町内会 古川会長>

伝わっていますよ。

<松尾市長>

分かりました。しっかりと対応させていただきたいと思えます。ありがとうございます。

第 2 部

地域からの議題に関する懇談

06 大船- 1	北鎌倉トンネルについて
06 大船- 2	大船消防署について
06 大船- 3	隧道について
06 大船- 4	JR 引込線跡地について
06 大船- 5	ごみ問題について
06 大船- 6	町内会エリアの大部分が商店会エリアの場合の問題点について

令和6年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	06 大船－1
テーマ	北鎌倉トンネルについて
内容詳細	工事に着手できない具体的な理由について伺う。
担当部課	都市整備部 道路課

議題に対する回答等	
北鎌倉隧道の安全対策の実施に向けて、土地の利用について、関係地権者の承諾が必要であることから、調整を行っていますが、承諾が得られていないため、引き続き関係地権者の御理解をいただけるよう努めてまいります。	
添付資料	

（１）北鎌倉トンネルについて

＜松尾市長＞

こちらにつきましては、毎年、大船地域でのテーマに上げていただいております。この間、本当に皆様には御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。工事着手できない具体的な理由につきましては、この北鎌倉隧道の安全対策の実施に向けて、土地の利用について関係地権者の承諾が必要であるため、この間、調整を行っているところですが、承諾がまだ得られていないためです。引き続き関係地権者の御理解をいただけるよう、努めてまいりたいと考えております。

関係地権者の方とは適宜お会いをして、協議をさせていただいているところでございます。一刻も早く開通できるようにというのは、我々も同じ思いでいるところです。引き続きしっかりと取り組んでまいりたいと思います。

＜市場町内会 北村会長＞

ここにいる町内会長のほとんどが男性、それから今日来ていただいている市役所の上層部の方も男性ですね。私どもの町内会の役員会ではいつもこのことで、特に女性の役員をしてくださっている方にもものすごい叱られます。私たちは地元をそんなに細かく動いたりすることはないのですけれども、子供や、買物に行く女性やお年寄り、そういう方が本当に困っているから、私自身が責められました。

長いこと町内会長をやらせてもらっていますが、いつも同じ話を聞いて、町内会に帰って、こんなお話でしたという報告をせざるを得ないのですね。本当に何とかしてほしいです。皆こんなに長く塞がっていることはないことを前提に、人生とか、色々なことを考えていくのではないかと思います、それを「待つて」というのが鎌倉市政なのですか。

ごみの焼却問題は、非常に長く待つことによって、世界の趨勢に沿った方向になってきたというのが市長の説明であり、決して悪くはなかったのだらうと思いますが、あそこのトンネルが塞がっていることで、地域を壊して、住民の生活を壊しています。そのことを肝に銘じて、もっと早く、来年小学校に上がる子供たちがあそこを通れるようにしていただきたいと思います。

＜松尾市長＞

これは昨年も説明させていただいたかもしれませんが、地権者の方々に集まっていた会の中で、地権者の方から課題・宿題を投げかけられました。その課題解決をしていくということはこの間行ってきました。

与えられた課題につきましては、解決することができていますので、改めて地権者の方々にこれから話をしていって、工事に入らせていただきたいというお願いをしていく段階であることをお伝えさせていただきます。

＜山ノ内下町下町内会 小泉会長＞

町内会としては、地権者や地主の方が「自分はこうだ」という御意見がある場合、町内会がそれを否定して「こうしてください」というお話をするのは、なかなか難しい部分があります。やはりそこは行政のほうで道筋をつけていただきたいと思います。かれこれもう9年、通行止めになってから時間がたっています。小学校1年生だった子どもは、もう中学生、高校になるかもしれない。やはり時間がかかり過ぎていて、何だか問題がよく分からなくなってきました。かえって時間をかけることによって、地権者に対しての憎悪というか、うわさが広まるのを心配しています。

大多数の人は、人と自転車を通れるようになってくれれば良いのではないかと思います、それでも承諾を得ることに時間がかかり過ぎであり、かえって疑心暗鬼というか、色々な噂が多くはびこっ

ています。町内会としては、噂の火消しに回らざるを得ないところがあるため、やはり行政に入っていただかないといけないと思いますので、どうかひとつよろしく願いいたします。

番 号	06 大船－ 2
テーマ	大船消防署について
内容詳細	大船消防署をなくされては困る。
担当部課	総務部 公的不動産活用課 消防本部 消防総務課

議題に対する回答等

現在、公共施設の 75%以上が築 30 年以上となっており、大規模改修や建替えなどの施設の更新が喫緊の課題であるとともに、今後人口が減少していき、財政状況も厳しくなることが予想されている中で、今あるすべての公共施設を維持・更新していくことは難しい状況となっています。

そのため、「鎌倉の魅力を継承しつつ、次世代に過大な負担を残さない」ことを前提に、建物の更新の時期を考慮し、かつ、市民の皆さんに提供するサービスの質を落とさないことに配慮しながら、複合化や集約化を進め、効率的な施設配置を実現していくこととして、平成 27 年 3 月に公共施設再編計画を策定し、公共施設の再編の取組を進めています。

公共施設再編計画では、大船消防署については、新庁舎の機能集約・複合化に合わせ、消防本部、深沢出張所と統合し、深沢地域整備事業用地に移転することとしています。

大船消防署の深沢地域整備事業用地への移転は、小袋谷跨線橋が整備され、深沢方面から大船方面へのアクセスが格段に向上したことから、公共施設再編計画で位置づけたものです。

大船消防署が移転することにより、距離が遠くなる地域や近くなる地域がそれぞれ存在することは言うまでもありませんが、各車両に GPS 機能を搭載し、災害時に直近の車両を出動させることができるシステムを整備し、災害発生時に迅速に現場に到着できるネットワークが構築されていることから大船地域の災害活動に大きな影響が及ばないと考えます。

公共施設再編計画に伴う消防署所の移転・統合については、市全体の配置バランスを踏まえ、消防力が低下することがないよう車両・人員数を検討し、市民が不安にならないよう進めています。

また、計画を進めていく上では、地域住民の不安を解消できるよう、町内会等からあらゆる機会を通じて丁寧に意見を聞くなど、今後も協議を進め市民説明を行っていく予定です。

添付資料

平成 27 年 3 月 公共施設再編計画 一部抜粋

(2) 消防施設

再編方針

- ◆ 鎌倉市全体の消防力を確保した上で、消防救急活動に支障をきたさない範囲で消防施設（消防団器具置場を含む）の配置見直しを行い、消防署・出張所等の複合化・移転・統合を行う。
- ◆ 津波浸水に対応するため、津波の影響の少ない場所への移転や堅牢な建物への建替えなどの整備を行う。

これまでの進捗

H26～R5

- ・ 鎌倉消防署の本部機能を大船消防署へ移転した。（平成 27 年（2015 年）4 月）
- ・ 台出張所は、跨線橋の供用開始に伴い廃止した。（平成 27 年（2015 年）3 月）
（併設していた第 5 分団は継続。）
- ・ 腰越出張所は、津波浸水に対応した建物に建替えた。（平成 28 年度（2016 年度））

再編内容

R6～R35

- ・ 鎌倉消防署の建替え時期に合わせ、浄明寺出張所との統合が可能な適地を選定し、整備用地を確定する。
- ・ 新庁舎の機能集約・複合化に合わせ、大船消防署・消防本部と深沢出張所を統合し、深沢地域整備事業用地（行政施設用地）に移転する。
- ・ 鎌倉消防署と浄明寺出張所を統合するための用地を取得し、新たな消防施設を建設する。
- ・ 将来に渡って市内の消防力が確保されるよう、消防施設（消防団器具置場を含む）の整備方針等について検討を行う。
- ・ 玉縄出張所は建替え時期に合わせ、周辺施設との複合化も含めて、施設の更新を検討す

再編によるコストの削減効果等

図表 消防施設の規模の推移

	H26時点	短期 R1年度末時点	中期 R7年度末時点	長期 R35年度末時点
施設数	9	8	8	6
施設面積	8,202㎡	7,939㎡	7,939㎡	7,532㎡

図表 消防施設のコスト（累計）

（百万円）

		短期 H26～R1 (6年間)	中期 H26～R7 (12年間)	長期 H26～R35 (40年間)
従来型コスト	$A=a+b$	13,681.1	27,243.6	94,068.3
建設	a	201.1	283.6	4,201.6
管理運営	b	13,480.0	26,960.0	89,866.7
再編後のコスト	$B=c+d+e$	13,623.5	26,539.6	78,378.5
建設	c	722.4	908.3	4,422.2
管理運営	d	12,901.1	25,631.3	74,614.3
借地料	e	0.0	0.0	▲ 657.9
コスト削減効果	$C=A-B$	57.6	704.0	15,689.8
削減率	C/A	0.4%	2.6%	16.7%

※借地料収入は建設及び管理運営に係るコストに対してマイナスとなるため、数値に▲をつけて表記している。

図表 消防施設の配置等



※1 近隣自治体と広域連携を実施する場合は、計画を見直す可能性がある。

※2 深沢地域整備事業用地に移転する計画の施設については、当該事業の進捗状況によりスケジュール、移転先についても変更となることがある。

■ 参考事例：消防署の複合化の事例

さいたま市緑消防署は、消防署の建物の老朽化及び敷地の狭隘による問題を解消し、他施設と複合化することで更新及び維持管理コストを削減するため、消防署、公民館、児童センターを複合施設として整備する工事が進められています。



施設概要

施設名	(仮)緑消防署等複合施設
建設地	埼玉県さいたま市緑区中尾
建物用途	消防署、公民館、児童厚生施設(児童センター)
敷地面積	4,229 m ²
延床面積	5,583.03 m ²
構造・規模	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 3階建
着工	平成26年(2014年)5月
	(完成予定 平成27(2015年)11月)



（２）大船消防署について

＜松尾市長＞

現在、公共施設再編計画をつくって進めているところですが、市の状況は公共施設の75%以上が築30年以上となっておりまして、様々な補修、建て替え、更新をしていく必要があります。全ての公共施設を同じように、同じ数だけ、同じ場所で維持、更新していくことは現実的には難しいところですよ。

この計画の中では、大船消防署につきましては、新庁舎の機能集約、複合化に合わせまして、消防本部と深沢出張所とを統合し、深沢地域整備事業用地に移転をすることとしています。色々と距離が遠くなることでの御不安、御心配のお声はこの間もいただいてきました。距離が遠くなるということではありますが、各消防車両にはGPS機能を搭載しまして、災害時に直近の車両を出動することができるシステムを整備しており、災害発生時に迅速に現場に到着できるネットワークが構築されていることから、この大船地域の災害活動に大きな影響は及ばないと考えております。また、この計画によって消防力が低下することがないように、車両や人員数を検討しまして、市民の皆さんが不安にならないように努めてまいりたいと考えております。

今後もあらゆる機会を通じて、丁寧に御意見を聞かせていただきながら、市民説明なども行っていきたいと考えております。

＜大船仲通町内会 権頭会長＞

今、市長からも話がありましたけれども、災害時には迅速な対応をしていただけるシステムになっているということですが、たしか昨年のふれあい地域懇談会の時にその話が出て、消防長が来られていなかったの、話をしても仕方がないということもあったのですが、その頃に聞いていたのが、消防署をつくるエリアの基準があって、大船地域には玉縄出張所と今泉出張所があるから、そんなにたくさんは要らないのだと。それで大船消防署はこの機会に深沢に統合するという話を聞いたのですが、まず、消防本部が由比ガ浜の鎌倉消防署から大船に移動してきたのは、津波の問題等があるからだというのは理解できます。今度、消防署が深沢に集約されるので、消防本部が深沢に行くということも全然問題がない話なのです。消防署そのものがなくなるというのは、えっという状況ですよ。

ましてや、先ほど市長もおっしゃったように、災害の時は、夜間で交通量が少なければ数分の違いでとかいうことがあるでしょうけれども、大災害の時は、御存じのように、逗子市や葉山町には広い道路もありますけれども、鎌倉市には片側2車線の道路はないのです。一部、鎌倉駅の前辺りが2車線もどきになっていますけれども、小田原から海岸線をずっと来ても、急に江の島を過ぎて腰越に入った途端に片側1車線なのです。横浜からずっと来ても、笠間に来た途端に片側1車線になってしまう。どこから来ても、鎌倉市に入った途端に片側1車線になってしまう。旧鎌倉地域と山崎のところに陸橋が確かにできましたけれども、そこまで来るのにも深沢から片側1車線ですよ。

それで、災害時は、能登でもどこでもそうでしょうけれども、建物が崩れたり、道路が渋滞したりして、片側1車線の道路だとおそらく寸断されてしまうと思います。消防車や救急車が大船地域に入ってくるのにはそういう課題もあるし、大船の方にはビルなどもできてきているのに、消防署が逆に遠くへ動いてしまうということは、住民としては非常に不安です。

冒頭に述べさせていただいたように、玉縄出張所と今泉出張所があるから数的には多いのだという認識は非常にナンセンスだと思います。そういうことではなくて、救急とか救命関連、あるいは消防については、やはり近くにあることが大事です。今までになかったものをつくるというのは大変なことですが、あるものをなくしてしまうということは、結構なパワーがないと住民の理解は得られないと思いますが、いかがでしょうか。

<松尾市長>

ありがとうございます。おっしゃるとおりでして、今あるものをなくしていくというのは、公共施設再編計画は、そういうことを目指してつくったものですが、なかなか計画どおりに進まないということに直面しているのは事実です。皆さんからは、長年あることによる安心感ですとか、もしくは利便性ですとかがなくなることについて、大変強く反対をされるお声をたくさんいただいてまいりました。

我々としみますと、何とか持続可能な形にしていかなければいけない、釈迦に説法ですけれども、江戸時代に約3,000万人だった日本の人口は、今1億3,000万人ぐらいになって、ここから2100年には一気に4,000万人ぐらいになっていくという、こういう社会をこれから生きていかなければいけない中においては、ある程度整理をしていかなければならない部分がございます。

ただ、今、皆さんの御心配、御不安なところをどう解消していくかについては、色々と知恵を持ち寄って検討していきたいというのが正直なところですが、今後も大船の地域の皆さんとは丁寧に協議を重ねさせていただければと思います。

<大船仲通町内会 権頭会長>

この件については、高木消防長が来られているので、消防長としての御意見を聞きたいのですが。

<高木消防長>

先ほど、今泉出張所と玉縄出張所でカバーできているから要らないというお話がありましたけれども、そういったことだけではありません。大船消防署が市境に近い位置にあるということは御理解いただけるかと思います。鎌倉地域の方でも、消防署の再編というのは行っておりまして、由比ガ浜の消防署と浄明寺の出張所も市境もしくは海の近くにあるということで、中央に持ってこようという考え方をしております。

国の基準では、鎌倉市の人口規模からすると消防署所の数は5でよいところ、現在は8あります。この基準がどのように定まっているかといいますと、6分30秒の間に駆けつけられる距離ということで算出しております。大船駅前の場合ですと、深沢地域整備事業用地からは約2.7キロ、今泉出張所からは約2.5キロということで、確かに現在の位置からは遠くなりますけれども、エリア的にはカバーできているということです。また、大船駅の災害出動に対しましては、玉縄の出張所のほうが救急隊として出動しておりますことを付け加えさせていただきます。

<大船仲通町内会 権頭会長>

その考え方が全く分かりません。警察は国の機関なので、以前にありました北鎌倉の交番について、市としてなかなか対応できないというのはわかりますけれども、消防署は市の組織ですから、どうにでも対応できるのではないかと思います。先ほど言ったように、道路が寸断されてしまったときにも来れるのですか。

<高木消防長>

そのために分団配置をしております、大船駅前に関して、もし仮に小袋谷の陸橋が崩壊するようなことがあれば、大船地区に配置しております、例えば9分団ですとか、6分団、7分団、8分団などの消防団の協力、もしくは今泉の出張所からの協力等を考えております。

＜大船仲通町内会 権頭会長＞

分団には、はしご車があるのですか。

＜高木消防長＞

いいえ、はしご車はございません。

＜大船仲通町内会 権頭会長＞

どうするのですか。そうすると。

＜高木消防長＞

3階建てのところに対しては、消防車両に三連はしごという、8.7メートルのはしごを積載しております。また、高層階に関しましては、消防法の消防用設備というのが設置されておりまして、他階からでも操作可能な避難ハッチというのが、特殊工具、消防隊が備えているもので開放することができまして、上階の方に進入することを考えております。

＜大船仲通町内会 権頭会長＞

その進入する人が来れるのですか。

＜高木消防長＞

深沢ではなくても、あらゆるところから駆けつけてまいります。

＜大船仲通町内会 権頭会長＞

分団の話が出ましたけれど、分団のことはよく御理解されていますか。例えば分団員が非常に少なくなっているという状況ですとか、そういうのも御理解なさっているのでしょうか。

＜高木消防長＞

はい。現在、第9分団は、定数が13名のところ11名の団員がおります。今2名不足しておりますけれども、基本的には受持ち区域内に居住しているかと思われます。また、やむを得ない場合には、受持ち区域内で勤務している方たちに協力してもらいます。また、9分団が急遽集まれないということになれば、隣接する分団からも応援が出るような形を取っております。

＜大船仲通町内会 権頭会長＞

先ほども話させていただきましたけれども、消防署が深沢に統合されることが市民に全然理解されないうちに進んでしまっていることはいかななものかと思います。やはり住民が理解しないと、せっかくやっても賛同を得られないと思いますので、そこのところはよろしくお願いします。

＜松尾市長＞

ありがとうございます。今回、ふれあい地域懇談会で改めて御提言いただいたということを踏まえ、丁寧に協議させていただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

＜田園町内会 水島会長＞

防災対策というのは、集約してしまう方法と、分散する方法とがあると思います。今回の場合、た

また大船があったから、鎌倉の消防本部を大船へ移すことができた。そのように、危機管理という面ではどこかにバックアップを設ける必要があると思います。鎌倉の旧市内をバックアップするためには、やはり大船が必要であるし、大船をバックアップするためには鎌倉が必要であると思います。どこかに集約してしまってコストダウンするのではなく、コスト面だけではなくて、そういった両方でお互いにカバーし合えるシステムを普段から考える必要があると思いますので、もう一度御検討いただければというのが一つです。

それからもう一つ、跨線橋が整備できたからアクセスがよくなったという話をされましたけれど、跨線橋は1本ですよね。渡ってから先がもし液状化とか何かでやられてしまったら、どこから入って来れるのですか。やはり2本、バックアップできるような形が必要ではないかと思います。

本当に集約することが防災上良いのかどうかという根本的なことから考えていただきたいのです。そちらのほうに資金を使うのでしたら、住民は文句を言わないと思います。自分たちの命を守るためですから。単なるコスト面と合理化という面で集約するのではなく、その辺のお考えを改めていただかなくてはいいないと思いますので、御要望として出しておきます。

<今泉町内会 高橋会長>

私たち市民はね、公共的なものがあるとすごい安心感があって、自助・共助も必要ですけども、公の場が近くにあるというのは心の支えとなりますので、市は考えを再検討していただきたいと思います。

番 号	06 大船－3
テーマ	隧道について
内容詳細	谷戸ノ前隧道、宮之前隧道の開削工事に関する要望に対する、その後の進捗状況について伺う。
担当部課	都市整備部 道路課

議題に対する回答等

「宮之前隧道」については、市では「谷戸ノ前隧道」として管理しています。谷戸ノ前隧道の修繕につきましては、「切り通しによる開削案」と「既存のトンネルを修繕する案」の比較検討を行いました。

この結果、「切り通しによる開削案」では、掘削に伴い高低差約11mの多段法面の建設が必要となり、この掘削による発生土量約7,600 m³を運搬するには、4tダンプトラックで延べ約4,200台が通行することになります。また、使用する掘削機械の能力から、必要日数は約420日となり、1年2カ月程度の通行止めとなります。

なお、工事費については、既存のトンネルを修繕する場合と比較し直接工事費ベースで約3倍となります。

このことから、切通し周辺環境に影響が少なく、経済性に優れている「既存のトンネルを修繕する案」に決定し、詳細設計を実施しました。

現在、修繕工事を実施すべく土地の所有者等と調整を行っています。

なお、令和5年度に点検を実施した結果、健全度Ⅲ判定となり、早急に対策が必要とされました。また、点検の際に隧道内部の浮きがある危険な岩を撤去して安全を確保しました。

添付資料

(3) 隧道について

<松尾市長>

宮之前隧道につきましては、市では谷戸ノ前隧道として管理をしているところです。この修繕につきましては、切り通しによる開削案と既存のトンネルを修繕する案の比較検討を行ってきたところです。

切り通しの周辺環境に影響が少なく、経済性に優れる既存のトンネルを修繕する案で進めさせていただきたいということで、詳細設計を実施させていただきました。現在、修繕工事を実施するべく土地の所有者等と調整を行っているところです。

<岩瀬町内会 安増会長>

まず岩瀬隧道ですが、平成30年5月に一部が崩落しまして、市の方で半年ぐらいかけて補修していただいたのですが、その際に、近隣の町内会で協議いたしまして、隧道ではなく、切り通しにさせていただきたい。この岩瀬隧道と谷戸ノ前隧道という、二つ隧道があるのですが、それを全部切り通しにいただければ、道幅も大きく取れます。今、信号によって片側交互通行になっていますが、これでは、緊急時に消防車が来ても待っていなければいけないことになります。

長い目で見ますと、確かに費用の面では3分の1かもしれませんが、あの地区には今泉や今泉台という何千もの世帯があります。岩瀬を通過していく道路もありますが、そこも緊急時はいっぱいになってしまい、住民の出口がなくなってしまう。ですから、短期的な面だけではなくて、10年、20年、30年と先を見ていただき、隧道ではなくて切り通しの方向でもう一度再検討していただきたいと思うわけです。

もう一つは谷戸ノ前隧道。これは4年ほど前に、市の道路課から近隣の4町内会の会長に対して補強の提案があったのですが、その際、道路幅は3メートルということでした。3メートルでは車が2台擦れ違えないのですよね。ですから、これをもうちょっと改善できないかと申し入れたところ、この4年間全く応答なしです。一部、前大船町内会長の方には話があったみたいですが。ですから、道路課というのは随分いっぱい仕事を抱えておられて、全然前に進まないという感覚を持っています。

市内には随分お金をかけている場所もあると思いますが、あの隧道は手掘りです。100年前の海軍が造っているわけです。そこから全然お金もかけておらず利用しているわけですよね。それを考えると、ある程度の投資をしていただいても良いのではないかと思いますので、御検討をよろしくお願いします。

<都市整備部 森部長>

道路課から回答がないとのことで、大変申し訳ありません。道路や隧道の拡幅等を検討しているところですが、おっしゃるとおり、去年の1年間、地域の皆様に御連絡ができてないという報告を受けておりますので、それは検討状況等も併せて御報告させていただきます。

あと、開削を含めての検討でございますが、やはり1年以上通行止めとなることなど、御不便をおかけすることもありますので、そういったことも併せて、改めて説明をさせていただきたいと思います。

<今泉台町内会 山本会長>

この問題は、昨年度も話に出て、全く同じというのでしょうか、そのままそっくり載っているわけですね。ということは、我々があれだけお願いをしたにもかかわらず、一切問題は前に進める気はないと、このまま実行しますよという姿勢だと思います。しかも、その理由は、経済的に効率が良いこ

と、そして環境的にあまり大きな改変がなく影響が少ないこと、この２点だろうと思います。

ただ、私どもが前に言ったように、20年や30年先のことを考えていただきたい。経済効率よりも、生命の安全を第一に考えていただきたい。行政は、まずそこに一番の重要なポイントがあると私は考えています。もちろん経済効率も必要なことでしょう。でも、あそこの道が、例えば樹木が上を覆っていますね、あの隧道の上を。今の天候状態、それから大災害の起こる可能性がますます大きくなっているときに、抜本的な考え方を示さないとまずいと思います。経済効率という視点からだけで物を考えていただいたのでは困るのです。

そうすると余計時間がかかるかもしれない。地域の安全のためには3年、4年我慢してください、新たな対策を立てますと。そういう理念が第一であってほしいです。

森部長の話は、市長の話も含めて理念がなく伝わって来ないのですよ。まちづくりに関しても、深沢のまちではこうしますと。しかし、その前に20年や30年先、あるいはもっと先まで含めた地域空間はどうあるべきなのか、都市、環境とはどうあるべきなのかという議論がまず我々に伝わって来なければいけません。そういう問題からまず出発しなければいけないでしょう。ということは、道路行政においてもそういうことが出てくるわけですよ。確かに鎌倉は道が狭くて非常に大変だと思います。一つ一つの道路に対してそんな予算はなかなか出ないかもしれない。でも、それを考えるのが市なのです。

我々の地域だけの話を我々はし過ぎるところもあるかもしれませんが、このまちの生命、生活をしっかりと確保するためには、そういうビジョンをまずつくって、そして、そのための予算を今後どう組み立てていくか、そういう考え方をまず我々に示してください。これだけの金がかかって、安いからこっちにします。我々を馬鹿にしているのですか。怒っています、私は。去年と全く同じ回答を出してきたことに対して。そういうことについて、必死になって説明に来てください。もしどうしてもあなた方の思いどおりにやりたいなら、市長が自ら来てください。我々を説得してください。

<松尾市長>

ありがとうございます。私が直接お話できていないことへの御指摘だと思います。今後どのようにしていくかについて直接お話をする機会を設けさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

<今泉町内会 高橋会長>

通学路でもあるし、本当に安全を第一にしないと、未来ある子供たちを危ない目に遭わせてしまうことになるので、市は、何とかしてよい方向に導くように、速やかにやっていただけるとありがたいと思います。

番 号	06 大船－4
テーマ	JR 引込線跡地について
内容詳細	「鎌倉武道館前エリア以外」の部分の活用について、現状と今後の見通しについて伺う。
担当部課	総務部 公的不動産活用課 まちづくり計画部 市街地整備課 まちづくり計画部 深沢地域整備課 まちづくり計画部 都市計画課 都市整備部 道路課

議題に対する回答等	
JR 引込線跡地のうち、三菱電機鎌倉製作所の周辺の区間については、三菱電機所有地との交換により三菱電機南側及び東側の道路用地の確保することとしています。南側道路については、令和5年度から測量業務及び予備設計業務を実施しており、現在、関係機関及び土地所有者等との調整を図っています。 東側道路については、令和3年度に地元町内会と現地の確認を行い、現道と三菱電機敷地との著しい高低差や三菱電機の既存建物への影響などの課題を共有しました。更に、早期に実施可能な安全対策として路面標示の新設を行いました。今後も、劣化状況に応じて必要な補修を行い、適切に維持管理を行ってまいります。 また、シンロイヒ株式会社に接する付近には、現在、湘南モノレール富士見町駅利用者の駐輪場整備を進めており、近日中に利用を開始する予定です。令和6年度は仮設整備となりますが、今後、県道の拡幅工事の状況等を確認しながら、駐輪場の拡大を検討してまいります。 なお、大船体育館からシンロイヒ株式会社大船工場前までの区間、および、三菱電機よりも南側の区間の利活用については、現時点で具体的な計画はありませんが、今後、周辺住民からの要望等を踏まえながら、利活用の方針に関する検討を進めてまいります。	
添付資料	

（４）JR引込線跡地について

＜松尾市長＞

こちらにつきましては、JR引込線のうち、三菱電機の鎌倉製作所の周辺の区間につきましては、三菱電機の所有地との交換により、三菱電機の南側と東側の道路用地を確保するという計画を持っております。

南側の道路につきましては、令和５年度から測量業務と予備設計業務を実施しておりまして、現在、関係機関及び土地所有者との調整を図っているところです。東側の道路につきましては、地元の町内会と現地の確認を行うなどしているところです。

また、シンロイヒ株式会社に接する付近につきましては、湘南モノレールの富士見町駅の駐輪場が大変利用者が多いことがございますので、新たな駐輪場整備を進めておりまして、近日中に利用を開始する予定となっております。

それから、大船体育館からシンロイヒ株式会社大船工場前までの区間及び三菱電機よりも南側の区間の利活用につきましては、現時点では具体的な計画はありません。

また、回答票には書いてないのですが、神奈川県工事にはなりますが、今年から武道館前のところの歩道の拡幅工事に入っております。来年の１月下旬までを工期としておりまして、まず、武道館前の歩道を整備していくという形で、JR引込線を活用した工事に入っておりますので、よろしくお願いいたします。

＜末広町町内会 齊藤会長＞

質問というよりも要望ということで、２点ほどお願いしたいと思います。

１点目は、今、市長がおっしゃったとおり、６月から来年の１月にかけて、武道館前の工事に着手します。今日も草刈りを作業員の方がされていましたが、引込線と一緒に考えると、４車線できる道路かなと思っているのですが、実は３車線で、３車線というより２車線のままで、交差点の右折レーンを回りやすくする。それともう一つは、バスのレーンといいますか、バスが止まると通れなくなり渋滞を起こしていますので、バスの枠を少し広げていくという工事なのですね。

先ほど、深沢の消防の話も出ていましたが、本当は４車線ぐらいにしておけば、災害時に通れるし、県と調整して道路をもう少し広げたらどうかと思います。

それからもう１点は、大船体育館からシンロイヒの工場までの区間と、三菱電機より南側の区間についてです。現時点では具体的な計画はないとのことですが、見ていただくとわかるとおり、背丈ぐらいの草が茂っていて、防災上非常に危ないと思います。住宅が密集していますので、大きな火事にもなりかねませんし、やはり草をそのまま放置しているのはどうかと思います。実はネズミなんかも出たり、この間も県道側にタヌキが出たりしていますので、環境面からみても改善したほうが良いと思います。年に２回ぐらい草刈りをする費用などを考えると、むしろ簡易舗装をしたほうが維持管理の面からも良いと思いますし、住民の方がそこを通れるようになると大変便利になります。その部分の整備を今後考えていった方がよいと思いますので、よろしくお願いいたします。

＜総務部 藤林部長＞

御存じの方もいらっしゃると思いますが、この引込線用地については、平成３０年にJRから取得いたしました。その取得目的としては、先ほど市長からも説明いたしましたけれども、県道の拡幅用地などですが、そのほかの利活用については、令和５年に改めてJR引込線跡地の利活用基本方針というのを定めまして、引込線を大きく９分割して、ここについては拡幅用地にしよう、三菱のところについては南側の道路の整備用地にしようということを決めております。ただ、一部、利活用の方針が決

まっていないところもございますが、そうしたところについては、今御指摘がありましたように、草が生えっ放しということもございます。ただ、その管理につきましては、市役所の庁内で、9分割に分けたところをそれぞれの所管で行っているわけでございますが、統括的に管理する立場上、防災の視点、それから今後の利活用の視点も含めまして、しっかりとその辺は管理して、また利活用につきましては、地元の皆様と協議させていただきながら検討してまいりたいと考えております。

令和6年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	06 大船－5
テーマ	ごみ問題について
内容詳細	戸別収集の開始時期やどのエリアから始める予定であるのかについて伺う。
担当部課	環境部 ごみ減量対策課

議題に対する回答等	
戸別収集については、燃やすごみを対象に、令和7年4月から先行エリア約1万世帯、令和8年4月から全市域での開始を予定しています。 先行エリアについては、高齢化が進む地域や子育て世帯が多く居住している地域、即時トラブル対応が可能なエリア、収集日や収集量の偏りを是正し平準化に寄与するエリアなどいくつかの観点を考慮のうえ、選定していく予定です。	
添付資料	

（５）ごみ問題について

＜松尾市長＞

第１部でも説明しましたとおり、先行エリアの約１万世帯が来年の４月から、そして全市域では再来年の４月から開始を予定しております。

どのエリアからということについてですが、現在、先行エリアとして開始予定の自治会・町内会長には御相談をさせていただいており、自治会として了承をいただければ、その地域を先行地域とするということで、現在選定をさせていただいているところです。それらが出揃いましたら速やかに報告させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

＜大船仲通町内会 権頭会長＞

なぜ燃やすごみだけしかやらないのか。というのは、先ほど市長もおっしゃっていたように、クリーンステーションは色々な人が掃除したりしなければならないのですが、燃やすごみ以外も一括してやっていただかないと、また何年かはずっと併用ということになります。カラスは生ごみだけでなく、プラスチックでも何でも突きますから、やるなら大変でしょうけれども、一緒にやっていただきたいという希望だけお伝えしておきます。

＜松尾市長＞

ありがとうございます。もちろんそうしたことも検討してきたところですが、全体の市の状況と、段階的に進めながら皆さんの御理解をいただきたいということと、仮に燃やすごみと、今御指摘いただいた容器包装プラスチックを進めたとしても、まだクリーンステーション自体は残っていくというところがあります。

段階的にはなりますが、しっかりと進めてまいりたいと思いますので、御理解いただければと思います。

＜末広町町内会 齊藤会長＞

来年４月から一部での開始を予定しているということなのですが、町内会としては、選定されたら住民の方に周知しなければならないので、スケジュール感をもう少し具体的に教えていただけますか。

＜環境部 加藤部長＞

スケジュールですけれども、今、自治町内会の会長にお声をかけておりまして、御理解いただけるところにつきましては、今後、改めてさらに詳しく御説明させていただきたいということをお伝えしています。高齢者の方が多いところですか、何かトラブルがあったときに市役所からすぐに行けるところですか、収集日や収集量が偏らないところを設定させていただいておりまして、８月中には決定をしていきたいと思います。その際には、また広報等でお知らせさせていただきます。

＜末広町町内会 齊藤会長＞

そうすると、現時点でお話が来ていなければ、その町内は該当ではないと考えてよいですか。

＜環境部 加藤部長＞

いえ、そういうことではございません、お声をかけさせていただいた中で、戸別収集はまだ先で良い、自分たちは再来年で良いというお話があった場合には、また違う町内会にもお声をかけさせていただく可能性もあります。７月中には目途を立てて、８月中には皆さんにお知らせしたいと思います。

<小袋谷町内会 齊藤会長>

先ほど、権頭会長から話があったクリーンステーションですけれども、うちの町内会でも十数年前に整備しましたが、補修が必要だとか、取り替えたいだとかと町内から言われています。戸別収集の話があるから止まっているのですが、クリーンステーションが続くということであれば、それは町内会の方で直すか交換するか考えていかなくてはならないと思ったことが一つと、クリーンステーションを最終的になくすということであれば、クリーンステーション自体がごみになるわけですよね。その回収方法ですとか、また、ごみにしないで再生するのであれば、そのことまで考えていただきたいという要望です。

<松尾市長>

はい。しっかり検討させていただきます。

<今泉町内会 高橋会長>

よろしく検討していただきたいと思います。正直な話、戸別収集はどうだと私のところには来ております。ただ、これはテープなどを自分で貼らなくてはいけないので、それが1,000円するものか、2,000円するものか、3,000円するものかが私もよく分からないので、その辺も考えた上で、今月の役員会で話してから結論を出そうと思っています。個人にお金がかかるので、どうなのかなという不安はあるのですが、どうせ1年遅れるかどうかの問題ですので、やっていただいた方がありがたいと個人的には思っております。

番 号	06 大船－6
テーマ	町内会エリアの大部分が商店会エリアの場合の問題点について
内容詳細	大船仲通町内会エリアは、その大部分を商店が占めております。実際に居住している住民は、エリア全体の1割未満です。従って、会員には居住していない商店に加入してもらい活動しているのが現状です。また、小規模の商店が主流で、商売を休んでまで町内活動をしていただくことは、非常に困難であるのが現状です。さらには、児童も数人しかいないため、市民運動会や盆踊り等各イベントの対応や避難所関連の問題も他の町内会とはいろいろな面で異なっています。すでに同様の問題で商栄会や駅前町内会はなくなりました。しかし、そのエリアには居住している住民は現在もいます。大船仲通町内会も例外ではありません。 そこで市への相談ですが、今後このような地域の問題に対し相談あるいは介入してもらえるのか。（問題点は多々あるので、今記述はしませんが）とりあえずは、同じエリアの大船仲通商店会と合同の団体（一本化）を作った場合、今までと同様の対応を市（地域のつながり課、商工課等）が認めてくれるのか聞きたい。中期的には今後、近隣の町内会や商店会との合併も視野に入れています。
担当部課	市民防災部 商工課 市民防災部 地域のつながり課

議題に対する回答等

地域が抱える課題につきましては、引き続き地域のつながり課や大船支所へご相談いただき、適宜該当の所管課へご案内するなど対応してまいります。

ご相談いただきました商店会と町内会の合併につきましては、合併後も町内会としての活動を継続されるのであれば、町内会活動として支援させていただきますが、商店会における合併手続きについては、鎌倉市商店街連合会の事務局である鎌倉商工会議所への届出が必要となるなど、町内会と商店会のどちらの立場で活動するのかによって事務手続等に変更が生じる可能性がありますので、引き続き地域の皆様と連携させていただきながら、今後の対応を検討していきたいと考えています。

添付資料

（６）町内会エリアの大部分が商店会エリアの場合の問題点について

<松尾市長>

この地域が抱える課題につきましましては、引き続き地域のつながり課ですとか、大船支所で御相談をいただきまして、適宜所管課へ御案内するなどの対応をさせていただきます。また、合併後も活動を継続するということでしたら、町内会活動としてしっかりと支援をさせていただきます。

また、商店会における合併手続きにつきましましては、鎌倉市の商工会議所への届出が必要になることもありますので、いずれにしましても、しっかりと連携をさせていただきながら対応をさせていただきますので、お気軽に御相談いただければと思います。

<大船仲通町内会 権頭会長>

ここに書いてあることは当然分かっているのですが、例えば仲通は、10家族あるかないかぐらいで、人数にしたら数十人しかいません。会員は一応100人ぐらいいますけれど、ほとんどが商店の人で、夜中はどうも誰もいないという状況ですね。でも、住んでいる人はいるわけです。

駅前商店会町内会、あるいは商栄会町内会というのもあったのですが、結局両立できないのでなくなってしまった。なくなったけれども、現在でも住んでいる人はいるわけですね。どこの町内会にも所属しない、所属したいけれど町内会がなくなったから所属できない。したがって、市からの内容を見たければ、広報かまくらを見るか、ホームページを見るか。要は、市から来る連絡を回覧するすべがないわけですね。

町内会と商店会は役員をやっている人もほとんど同じです。例えば、先月3日の2時から商店会の総会をやって、5時から町内会の総会をやりました。ほとんど出てくる人は同じですが、2回もやらなければいけない。役員会も同じです。最近は合同でよくやったりしていますけれど。そういうのを含めると、特殊な地域では、合同でつくった組織を、それぞれ商工会議所なり、あるいは市でいえば商工課なり地域のつながり課なりで今までと同じような対応を取ってくれれば、もっと発展するのではないかと思います。

ほかの商店会や町内会ではどうやっているのかわかりませんが、商店の人には町内会費と商店会費とを両方もらっているわけですね。商店の人は住んでないのに。何か訳のわからないことをやっているような状況で、自分でもちょっとジレンマがあるのですが、そういうのを含めて、今後また駅前や商栄会の町内会みたいになくならないために、今と同じような形で、市なり商工会議所が組織として認めてくれれば、総会も1回で済むし、何かそういう手助けをしてもらえないかと思っただけで、おそらく個別にやらなければいけない問題なので、あまり長くしても仕方がないのですが、一応問題として提起させていただきました。

<市民防災部 永野部長>

ありがとうございます。かなり特殊というか、ほかのところとは共通の課題ではない部分もあるのかもしれませんが。また、課題についても全て把握できていないと思いますので、これから、当然地域のつながり課もそうですけれども、大船支所であるとか商工課も市民防災部の所管でございますので、きちっと話は通しておきますので、御相談していただければと思います。

<今泉町内会 高橋会長>

こういう問題って、小町通りなどもそうだと思いますが、ほかの市などで同じような事例はないのですか。

＜市民防災部 永野部長＞

同じような事例はあるのかもしれませんが、それについてどのように解決していったのかという具体的な事例までは、私どもも把握しかねているところです。ですから、仲通商店会のケースに合うような解決策を導き出せればと思いますので、御相談をさせていただきたいと思います。

その他

<つるまい町内会 秦会長>

御承知のとおり、大船というのは、昭和23年4月に鎌倉に入りました。その前は、これは明治22年、1889年になりますが、そのときに今泉だとか、岩瀬、大船、小袋谷、台、それから山ノ内が合併した小坂村が発祥なのですね。このように多様な文化と人が住んでいるまちなので、色々な課題があって、それぞれが本当に色々な思いを持って、皆さん町内会長をやっているのです。市長が深沢のまちづくりを最初のテーマで出されましたけれど、我々ははっきり言ってあまり関心はございません。もっと大船をよくしようという考えで、今日、皆さんは来ていただいていると思います。

今日のテーマもそうですが、先ほど市長、持続可能と言いましたけれどね、消防署もそうです。これ、なくなったら大変なのです。こういうことはもう少し真剣に、あるいは、重要なことですから、しっかりとみんなと話し合っていて決めていただかないと困ってしまいます。

先ほど山本会長が言われたように、ふざけるなというのが正直なところなのです。去年と今年とで全然変わらないのですね、市からの説明は。もっと真剣に考えていただきたいと思います。大船はこの31自治町内会だけで1万6,400世帯あるのです。だから、これを無視してもらっては困るのです。そういうことで、もう少し大船にお金を出してほしいです。

まちづくりは別に深沢ありきではないのですよ。ですから、大船に市庁舎を持ってきてもよいではないですか。それだけ今日お集まりの皆さんは真剣に考えていますから、市の方も懇切丁寧な回答を持ってきて答えていただきたいと思っております。ぜひ来年はこのようなことのないようにしていただきたいので、よろしくお願いします。

<市場町内会 北村会長>

私たち町内会では、いつも災害が起こったらどうしようか、そのための備えもしておかなければいけないということがいつも頭にあるのですが、今年の1月に起こった能登半島地震で、目先のことに追われて後に回していたことに対し、慌てて動き出しているのですが、一つは、災害で木が倒れる危険、それから町内会の防災物資を入れる倉庫、それから避難場所の問題があります。幸い避難所運営については、東日本大震災の後から、この地域の町内会の皆さんが努力されて、学校で運営マニュアルをつくりました。そのこと自体はすごくよかったのですが、実際に避難所となる学校の整備がずっとされていない。

私は4月に能登に行ってきましたけれども、やはり一番困っているのはトイレですよ。外から行くにしても、避難所に集まっている人にしても、トイレが全く困り切っているわけですよ。学校が避難所になるということですから、学校のトイレはどうかというと、昔ながらのトイレです。それが避難所となったときに活用できるのかどうかですが、進んでいないのですね、10年前のときから。市に聞きますと、16校ある小学校を順次やっていると。中学校は少し早く進みました。でも、こういうことでは16年かかるわけですので、学校の予算の中だけではなくて、防災を全体の予算の中できっちりとやるようにすれば、もっと早く進むと思いますので、そういうことをぜひ進めていただきたいと思います。

それから避難路です。例えば、私たちのところから山崎小学校に行こうとすると、途中の断崖の上に大きな木がはびこっています。それから、私たちのところのトンネルの前後に大きな木があります。こういうのを何かしてくれと言っても、先ほども市長がおっしゃっていましたが、補助率を上げました。でも地権者がやらなければ、ずっとそのままなのですね。通学路になっていて、子供たちは日常的に通っています。大きな木になると、枝が落ちてくる可能性もあるわけです。それから、災害が起こったら、そういったものが道を塞ぐことは予想できるわけですよ。そういうことも補助

制度を活用してやってくださいと。地主は誰ですかと聞いても、個人情報ですから教えられませんと。こういう形で、私たちがお願いしてもなかなか進まないことがあるわけです。

ほかはどうしているのかと思い、インターネットで調べてみたら、防災のための事前伐採をやっているところがあるのですね。大台ヶ原の大台町内会です。災害が起こって電線が途絶すると大変なことになるので、道路に沿って張られている電線を守るため、中部電力と申し合わせて半々ずつ出しているのです、公のお金を。これは民地の話です。知恵を出せば進めることができると思いますが、そういうことを一向にやってくれない。

あと、防災倉庫の位置にしてもそうです。私有地に置くと、相続などの問題が起こるとしょっちゅう変えないといけませんから、なるべく公の土地を貸してほしい。そうすると、道路は、行き止まりの道路であっても駄目だと言いますし、公園は公園で駄目だと言いますし、それから公的不動産活用課が管理しているところについても良い返事は得られませんし、さらにややこしいのはみどり公園課と総合防災課で、防火水槽や調整池と緑地が重なっているところです。どこが境界かが分からないので進められないとか、そういうことが実際やってみるとしょっちゅうあります。進めようと思っても進められないのですね。

皆さんもそうだと思いますが、やはり何かが起こったら、町内会長のところに来るわけですよ。そういうことに対して、市の中で責任を持って解決しようという部署をつくってほしいと思います。町内会長が動きやすいような体制を市役所の中につくってほしいと思います。

<松尾市長>

ありがとうございます。おっしゃるとおり、会長が動きやすいような体制づくりは絶対にやるべきだと思っています。今、支所がそういう役割をさせていただきたいというところです。たらい回しみたいなことは絶対あってはいけないのですけれども、そういうことがあるのであれば、そこは支所長に御一報いただければと思います。もちろん私でも良いです。

それから、今、細かい御指摘が幾つかありましたが、トイレについては、以前は各学校で予算の中で1個ずつやっていたのですが、東日本大震災があって、1個ずつやっているといつ終わるか分からないということがありましたので、東日本大震災の後に、全てを新しく更新しました。あと、避難所として空調がないことも問題でしたので、鎌倉市の小・中学校や全ての特別教室を含めて、空調を一斉に整備させていただきました。

ただ、また7年経ちますと順次古くなってきますので、今、教育委員会の方で、学校の老朽化に合わせて大規模修繕や建て替えの計画をつくりまして、順次、計画に沿って進めていくことと、それでは賄い切れない雨漏りとかにも予算を重点的に配分して、順次改修していくことを今年度から進めているところがございますので、その点は御理解をいただければと思います。

それから、伐採のところですが、これは全国でもそんなに変わりではなくて、個人の所有ということなどもある中でやらせていただいています。ですので、先ほど多分御説明されたのは、半々という補助のお話だったかと思いますが、鎌倉市も半々の補助です。もちろん上限金額があるので、半々にいかない場合もありますが、市もそこまでアップさせていただきました。所有者の方は、これまで費用がかかってやれないということを散々言われてきましたけれども、これはやはり所有者の責任ですから、きちっとやっていただくように、我々も繰り返しお伝えしたいと思いますし、ぜひそこは一緒になって、危険な箇所を解消できるように取り組んでいければと思います。

<市場町内会 北村会長>

半分は中部電力です。地権者は同意をするだけで、公が半分、残りの半分は中部電力。電線を通す

ことで利益を得ている企業ですね。ですから、自治町内会は地権者に話しをして仲立ちをするとか、そういうことで動いているようです。

<松尾市長>

承知しました。ありがとうございます。

<大船仲通町内会 権頭会長>

消防署を大船地域から移転することは承知していませんからね。それだけは申し添えておきます。先ほど秦会長が言ったように、もうちょっと大船のまちづくりというのも考えてほしいと思います。大船地域から消防署をなくすことで将来に禍根を残したくないので、よろしくお願いします。